

SNSを巡る企業リスクと法的知識・対応策 ～マーケティング利用に伴うリスク対策～

フランテック法律事務所 代表
武蔵野大学法学部・大学院教授
弁護士 金井 高志

目次

I ソーシャルメディア利用に伴うリスク

- 1 ソーシャルメディアの意義
- 2 インターネットの特性とソーシャルメディアの特性
- 3 ソーシャルメディアに関するリスク
- 4 企業のソーシャルメディアリスクのユーザによる分類

II ソーシャルメディア利用のメリット・デメリット

- 1 ソーシャルメディアをビジネスで活用するメリット
- 2 炎上事例

III 公式アカウント運用上の注意点

- 1 ソーシャルメディアマーケティングの定義
- 2 公式アカウント担当者向けガイドラインに記載すべき11項目
- 3 運用上の留意点
- 4 ソーシャルメディアマーケティングの法的留意点

IV トラブル発生時の留意点

- 1 不適切な情報を発信した場合の対応
- 2 事態収拾に向けた広報対応

V まとめ

I ソーシャルメディア利用に伴うリスク



1 ソーシャルメディアの意義

広義: ユーザが情報を発信し、形成していくメディア

Consumer Generated Media (CGM)、User Generated Media (UGM)

狭義: Web上で提供されるサービスのうち、ユーザの積極的な参加・情報発信によって成り立ち、ユーザ間のコミュニケーションを主要な価値として提供するサービスの総称

①情報発信 = CGM・UGM (ブログ、YouTube)

②コミュニケーション

a) バーチャルの利用者間 (ネット上での友人・知人であり、実名・匿名を問わない) (例: オンラインゲームのSNS、mixi)

b) リアルの利用者間 (実際の友人・知人間) (例: Facebook)

I ソーシャルメディア利用に伴うリスク

2 インターネットの特性とソーシャルメディアの特性

【インターネットの特性】

広域性・・・広域にわたり情報伝達できる

速報性・・・瞬時に伝達できる

蓄積性・・・一度掲載されると消すことが難しく半永久的に残る

匿名性・・・匿名で情報発信できる

双方向性・・・双方向での情報のやり取りが可能

【ソーシャルメディアの特性】

ユーザの匿名性・実名登録

情報発信速度の高速化

発信された情報内容の拡散速度の高速化

I ソーシャルメディア利用に伴うリスク

3 ソーシャルメディアに関するリスク

(1)レピュテーションのリスク

レピュテーション:「評判」「名声」「噂」「風評」

コーポレート・レピュテーション: ステークホルダーによる会社(経営者と従業員の過去の行為)に対する認知の集積または企業評価

負のコーポレート・レピュテーションのリスク: 不祥事などにより企業評価(社会的信頼)を落とす要素としてのコーポレート・レピュテーション。企業評価の低下による損失を発生させる危険

(2)情報漏えいリスク

従前の主な情報漏えい事案・・・営業秘密や個人情報の持出・流用・漏えい

近時多発する情報漏えい事案・・・営業秘密には当たらない社内情報の開示

例)顧客の来店情報、営業活動情報、人事関連情報、給与・賞与情報、セクハラ・パワハラ、他の社員のプライバシー

I ソーシャルメディア利用に伴うリスク

4 企業のソーシャルメディアリスクのユーザによる分類

